

令和3年郡山市議会12月定例会提案理由

(令和3年12月2日)

本日ここに、令和3年郡山市議会12月定例会を開会するにあたり、当面する市政の課題並びに今回提出いたしました議案の概要等について御説明申し上げます。

はじめに、「**新型コロナウイルス感染症の対応**」について申し上げます。

全国的な新規感染者数の減少傾向が続く中、本市における累計感染者数は、昨日、12月1日現在で2,062人であり、直近の新規陽性者数については、10月が8人、11月が3人となるなど、感染状況は落ち着いていると伺われる状況にあります。

議員各位はじめ、感染拡大防止に向け、様々な御対応をいただいております市民の皆様、事業者の皆様に対しまして、心から感謝を申し上げます。

今後は、第6波を見据えた対応が思慮される中、強い感染力が疑われる新たな変異株オミクロン株に対する警戒感が生じており、市民の皆様には、マスク無しでの会話を避け、換気の徹底、こまめな手洗いなど、引き続き基本的な感染予防対策に取り組まれますようお願い申し上げます。

次に、「**新型コロナウイルスワクチンの接種状況**」について申し上げます。

11月30日現在、対象者292,988人に対して、1回目の接種を終えた方が253,213人で接種率86.4%、2回目を終えた方が247,174人で84.4%となっており、希望される方の接種は、概ね完了したものと受け止めております。

なお、新たに12歳になられる方や、何らかの事情によりこれまで接種を受けられなかった方に対しましては、新型コロナウイルスワクチンの臨時接種実施期間である来年9月30日まで、1回目、2回目接種の受け入れ可能な体制を確保し、希望される方へのワクチン接種を継続してまいります。

今後におきましても、^{さとうまさやす}佐藤昌保郡山医師会副会長が座長の18人で構成される「郡山市新型コロナウイルスワクチン接種専門委員会」と緊密な連携のもと、希望される方が円滑にワクチン接種を受けられるよう、取り組んでまい

ります。

次に、**市政を取り巻く情勢**について申し上げます。

はじめに、**国の動向**についてであります。

去る11月19日には、「新型コロナウイルス感染症の拡大防止」などの4つの柱による「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」について、また26日には「令和3年度補正予算案」が閣議決定され、感染抑止と経済活動の両立を図る政策の方針が示されました。

経済対策における成長戦略では、再生可能エネルギーの拡大のほか、地方を活性化し、持続可能な経済社会を目指す「デジタル田園都市国家構想」の推進が掲げられております。

また、政府は、先月19日までに「新型コロナウイルス感染の第6波に向けた総合対策」と「新型コロナウイルス対策を巡る行動制限緩和策」について決定いたしました。これら国の政策動向を注視し、時機を逸することなく市民生活、地域経済に即連動させるため、引き続き、本市の来年度予算編成等を見据え、迅速な情報収集と的確な対応に努めてまいります。

次に、**最近の景気動向と雇用情勢**について申し上げます。

我が国の経済について、内閣府は、11月の月例経済報告において、「景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、引き続き持ち直しの動きに弱さがみられる。」と基調判断を上方修正しております。

また、日銀福島支店は、10月の金融経済概況において「県内景気は、新型コロナウイルス感染症や半導体不足の影響から、持ち直しの動きが鈍化している。」として、基調判断を据え置いております。

雇用情勢については、郡山公共職業安定所管内の10月の有効求人倍率は1.50倍となっており、前月比で0.04ポイント上回り、県全体の倍率と比較しますと、0.21ポイント上回っております。引き続き、情報の収集・分析・提供に努めてまいります。

次に、**本市の音楽関係団体等の活躍**については、本年も目覚ましいものがありました。

小・中学校では、全日本合唱コンクール全国大会で、郡山第一中学校が全国1位にあたる文部科学大臣賞を、朝日が丘小学校が全国3位にあたる所沢市長賞を、郡山第六中学校が金賞を、郡山第七中学校が銀賞を受賞するなど輝かしい成績を収めております。

また、日本学校合奏コンクール全国大会グランドコンテストで、郡山第二中学校が全国1位にあたる文部科学大臣賞を、芳山小学校が全国3位にあたる千葉市教育長賞を、郡山第一中学校が金賞を受賞するなど輝かしい成績を収められました。

高等学校では、郡山高等学校が、NHK全国学校音楽コンクール及び全日本合唱コンクール全国大会において全国1位となり、主要大会で2冠を達成したほか、安積黎明高等学校が全日本合唱コンクール全国大会で全国2位となりました。

また、日本学校合奏コンクール全国大会グランドコンテストで、郡山商業高等学校が銀賞を、全日本マーチングコンテストで、帝京安積高等学校が銅賞を受賞するなど優秀な成績を収められました。

これらの結果は、日頃のたゆまぬ御努力の賜物であり、児童生徒の皆様と、音楽活動を支えてこられた教職員、保護者の皆様に心から祝意と敬意を表します。

また、「スポーツ関係団体の活躍」については、「第100回全国高等学校サッカー選手権大会福島県大会」において尚志高等学校が2年ぶり12回目、「第74回全日本バレーボール高等学校選手権福島県大会」において郡山北工業高等学校が5年ぶり10回目、郡山女子大学附属高等学校が6連覇で23回目となる優勝を飾り、全国大会出場の切符を手にされました。この榮譽に対し、選手、関係者の皆様に心から祝意と敬意を表しますとともに、大会での御活躍を御期待申し上げます。

続きまして、**当面する市政の課題及び提出議案の概要**について申し上げます。

はじめに、「郡山市まちづくり基本指針」につきましては、去る10月19日に、市民ワークショップ「あすまち会議こおりやま」の討議結果報告をいただいたところであり、今後、有識者による審議会に諮問するなど、議員各位や有識者、市民の皆様の御意見等をいただきながら「DX推進型『新型コロナウイルス感染症対応』課題解決先進都市の創生」に向け、新たな社会課題等への対応を進めてまいります。

次に、「こおりやま広域連携中枢都市圏」につきましては、かねてから連携に向け調整を行ってまいりました磐梯町との連携中枢都市圏形成に係る連携協約締結に関する協議について議案を提出しており、引き続き、年度内の「都市圏ビジョン」改訂などの手続きを進めてまいります。

次に、「気候変動・地球温暖化対策」につきましては、去る11月13日に閉幕した第26回国連気候変動枠組条約締結国会議(COP26)において、産業革命前からの気温上昇を1.5℃以内に抑える努力を追求すること等を明記した「グラスゴー気候合意」が採択されました。また、国においては、来年4月施行予定の「改正地球温暖化対策推進法」を踏まえた、新たな「地球温暖化対策計画」及び「第6次エネルギー基本計画」を10月に閣議決定したところであります。

こうした状況を踏まえ、本市といたしましては、「2050年カーボンニュートラル・シティ・郡山」の実現も視野に入れ、「緩和」と「適応」の両輪による取組をさらに充実してまいります。

次に、昨年7月に島二丁目地内において発生した爆発事故につきましては、本市が支出した費用について、責任を有すると思慮される関係者に対し、民事上の任意の賠償を求め協議してまいりましたが、本日現在、当該関係者から賠償金全額を支払う旨の回答を得ておりません。

本市といたしましては、事故の責任の所在を明らかにするため、弁護士への相談等を踏まえ、関係者に対し民法第719条に基づく共同不法行為者として損害の賠償を求める訴えの提起に係る議案を提出しております。

次に、**令和4年度当初予算編成**については、「DX推進型『新型コロナウイルス感染症対応』課題解決先進都市の創生を目指す新年度予算」を基本方針とし、去る10月1日に各部局へ通知し、公開いたしました。新年度予算は、

感染再拡大防止等に留意しながら、コロナ禍からの経済再生など、ポストコロナ社会の形成を促進するものであります。

特に「デジタル化の加速」や「気候変動対策」などは主要な柱と位置づけ、バックキャスト思考により「誰一人取り残さない」SDGsの基本理念のもと、全ての市民の皆様の健やかな生活を守ることを目指してまいります。

それでは、提出いたしました**議案等の概要**について申し上げます。

はじめに、「**新型コロナウイルス感染症への対応**」についてであります。

「ワクチンの3回目の接種」については、国の方針を受けて、2回目の接種完了後、原則8箇月以上経過した18歳以上の方を対象として、まずは医療従事者の方に対し、昨日、12月1日から各医療機関において、順次追加接種を行っているところであります。

また、医療従事者以外の方々への3回目接種については、65歳以上の高齢者の方が1月以降に、また、64歳以下の方が3月以降に順次接種を行ってまいります。今回の追加接種においては、65歳以上の方の予約時の負担を軽減するため、2回目の接種を集団接種会場で行った高齢者の方には、あらかじめ接種日時を指定した上で、通知する予定であり、これら3回目接種に要する経費を計上しております。

「医療機関支援」については、今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により自宅療養者が増加した場合に備え、夜間における自宅療養者の急変に対する速やかな医療体制の確保に要する経費を計上しております。

「事業者支援」については、売上が減少した事業者に対する融資制度や県の融資制度に本市独自の上乘せ補助を行う経費並びに感染防止対策に取り組む飲食店等を応援する経費を追加計上しております。

また、融資の返済計画の変更等が必要な事業者が認定支援機関の支援を受けて策定する「経営改善計画」の策定費用の補助を行っておりますが、より早い段階から経営の改善が図られる「早期経営改善計画」の策定費用についても補助の対象に加え、事業の拡充を図ったところであります。

「雇用維持支援」については、国の雇用調整助成金等の特例措置期間の延長に伴い、雇用継続支援補助金の補助対象期間を延長し、雇用の安定及び事

業運営の継続を図ります。

続きまして、「懸案事項の早期解決と行政課題への対応」についてであります。

はじめに、「旧富久山公民館富久山分室」の復旧については、地域コミュニティ活動の推進に加え、気候変動に対応した防災機能も含めて整備するための実施設計に要する経費を計上しております。

次に、「気候変動対策」として、農業用施設整備については、流域治水対策を推進するため、雨水貯留機能及び洪水調整機能の向上を図る農業用ため池の浚渫工事等に係る測量設計に要する経費を計上しております。

また、雨水対策整備については、図景貯留管が9月末に、赤木貯留管が10月末に暫定供用しており、本定例会には、郡山中央工業団地の大河原地区における石塚樋門・ポンプゲート整備に要する継続費予算を計上しております。

次に、「放課後児童クラブ」については、来年度以降の入会児童数の増加に対応するため、5小学校に計5クラブ、180名の定員増に要する経費を計上しております。

また、「こども医療費の助成」については、来年7月からこども医療費の還付請求手続きを不要とするためのシステム改修に要する債務負担行為予算を計上しております。

次に、障害福祉サービス事業を実施している「更生園」については、昭和45年4月の開所から51年が経過し、施設の老朽化等の課題解決に向け、希望ヶ丘学園旧園舎跡地を含む同地域の今後の在り方を視野に入れた、新たな施設整備に係る事業手法の調査等に要する経費を計上しております。

次に、「郡山西部第一工業団地第2期工区の整備」については、来年度の造成工事着手に向けて、樹木伐採に要する経費を計上しております。

次に、「ため池放射性物質対策」については、東日本台風以降に対策を行った箇所等を除いた全ての農業用ため池522箇所の再調査に要する経費を計上しております。

次に、「開成山公園Park-PFI事業」については、平成29年の都市公園法の改正により創設された公募設置管理制度（Park-PFI）を活用し、公

園の質・利便性・魅力の向上を図るため、スポーツ施設エリアを除く開成山公園及び隣接する3公園について、民間事業者のノウハウを活かした広場や駐車場等の特定公園施設等を整備・改修するための負担金及び指定管理料に要する債務負担行為予算を計上しております。

次に、道路運送法に基づく「デマンド型乗合タクシー」については、2025年の超高齢化社会を見据え、路線バスが廃止となる地域への対応として、来年4月1日から新たに片平・中田地区へ拡充し、市内10地区での運行を図るために要する債務負担行為予算を計上しております。

以上が提出議案等の概要であり、この結果、**一般会計補正予算案**は、17億8,951万6千円、累計では、1,444億5,245万3千円となり、前年度同期に比較し、24.3パーセントの減となります。

また、**特別会計補正予算案**は、国民健康保険特別会計など、14の特別会計において、それぞれの目的に沿った経費を計上しております。

この結果、特別会計補正予算総額は、3億6,075万8千円、累計では、1,025億8,952万6千円、前年度同期に比較し、3.4パーセントの増となります。

従いまして、一般及び特別両会計の補正予算額は、21億5,027万4千円、累計額は、2,470億4,197万9千円となり、前年度同期に比較し、14.8パーセントの減となります。

次に、**条例及びその他の議案**としては、「郡山市簡易水道事業の地方公営企業法の適用等に伴う関係条例の整備に関する条例」など、条例議案10件、「工事請負契約について」など、その他の議案4件を提出しております。

よろしく御審議の上、御賛同を賜りますようお願い申し上げます、提案理由といたします。

なお、本会期中に人事案件を追加提出いたしますので、あらかじめ御了承をお願い申し上げます。

以 上